

ご 挨拶

日頃より、私どもの活動にご理解ご協力ありがとうございます。

「自然とふれあおう！わんぱく KIDS」を無事に開催できました事、ご報告させていただきます。
多くの個人団体のご支援により開催することができました、心より感謝申し上げます。

今夏も自然災害や川海での事故などのニュースが多くあります。近年の急激な気象変動もありますが、もともと日本は地理的要因から厳しい気候風土の国土です。その中自然災害を乗り越える胆力を持ち、また自然からの恵みに感謝し、自然と調和共生する知恵を持って暮らしてきました。現代になり、永年培った知恵と胆力、研ぎ澄まされた感性を失ってしまったのではないのでしょうか。もちろん、被災された方々は大変不幸でお気の毒です。しかし、単に気の毒でしたと言うことでなく、自分の事としてすべての日本人が今一度真摯に自然に向き合い、自然と調和共生する知恵と胆力、研ぎ澄まされた感性を取り戻す必要があると思います。

今後もキャンプを通して、自然に対する畏敬の念を子どもたちに伝えていければと思っています。

様々な困難を乗り越え、日本を再興する原点は、教育の再生です。

それには、自分の考えを持ち精神的独立をし、他人の考えを理解し認め合う力を持ち、さらに率先して行動する勇気とリーダーシップを持った、「自立した人」づくりが必要です。

このキャンプは、「青少年の健全育成」「ボランティアリーダーの育成」を目的とし、「自分のことは自分でやる。一人でできないことは協力してやる。できる人はできない人を助ける。」自立と共生という社会の基本を伝える場です。キャンプでの様々な体験を通し、参加した児童・リーダーの自立心・共助心・創造力醸成の一助となれば幸いです。

日本の置かれた状況はまだまだ厳しいものですが、日本の再興の一助となるべく理念「自立型共生社会の実現」に向け活動してまいります。

今後ともご理解、ご支援よろしくお願い申し上げます。

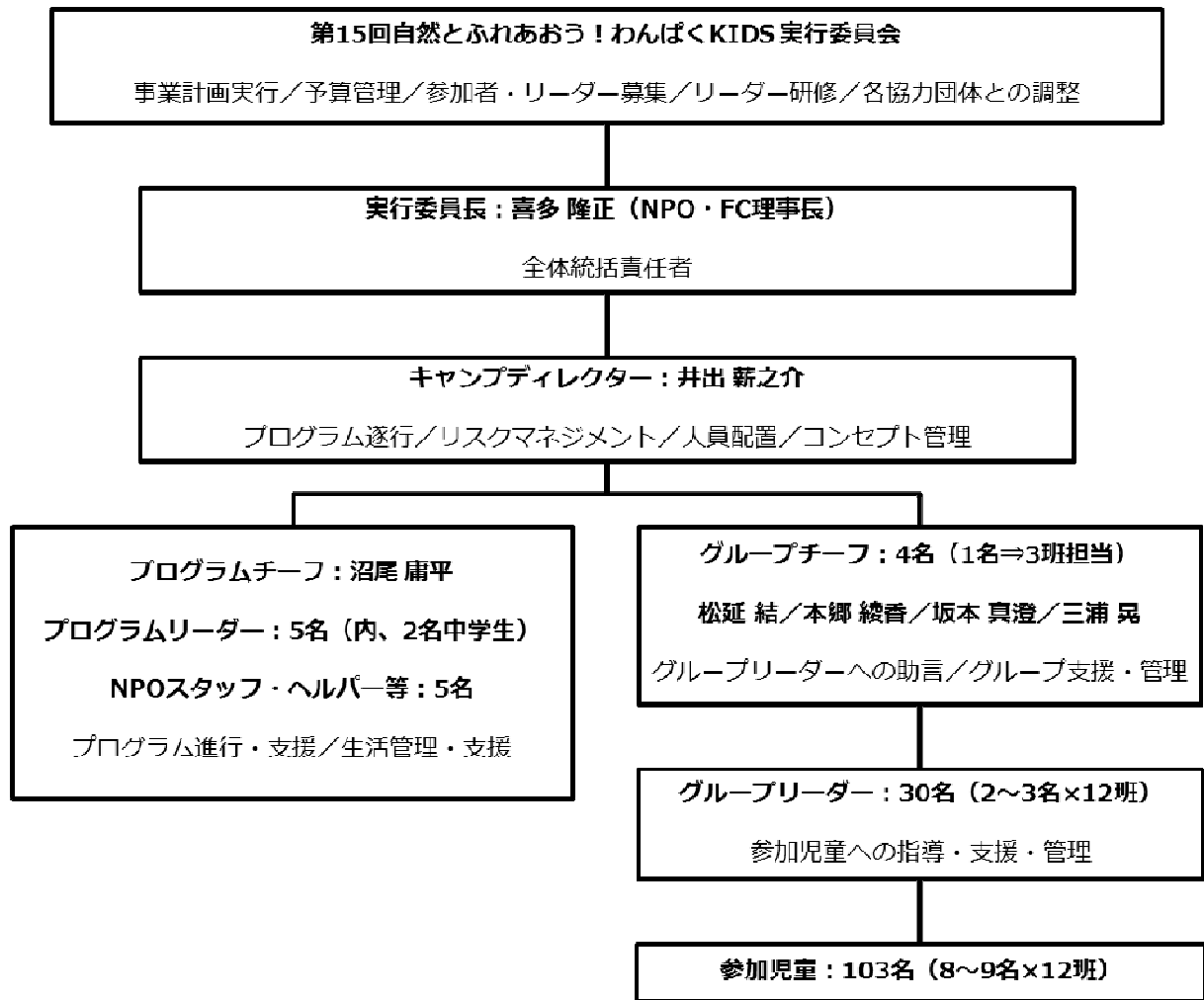
平成 26 年 9 月 1 日

特定非営利活動法人 フレンドシップキャンプ
理事長 喜 多 隆 正

実 施 概 要

構成団体	主 催 特定非営利活動法人 フレンドシップキャンプ 後 援 中央区教育委員会 特定非営利活動法人 東京中央ネット 協 力 中央区立宇佐美学園 社団法人 小田原青年会議所 特定非営利活動法人 宇佐美江戸城石丁場遺跡保存会 一般社団法人 シーフードスマート 江戸東京再発見コンソーシアム
主催団体 理念	「自立型共生社会の実現」
事業名称	第 15 回「自然とふれあおう！ わんぱく KIDS」IN 宇佐美
事業目的	青少年の健全育成・ボランティアリーダーの育成
事業コンセプト	「自分でできることは自分です。できないことは助け合う。」
開催日程	平成 26 年 8 月 5 日から 8 月 9 日 4 泊 5 日
開催拠点	中央区立宇佐美学園とその周辺地域及び小田原・湯河原地域
事業概要	子ども：3～6 年生の男女各 1～2 名 リーダー：2～3 名 合計 10～12 名で 1 つの班を構成。全 12 班。 班別行動を基本とし、豊かな自然環境の中で海・山・川のなどの各アクティビティを体験する組織キャンプ。寝室は学年を考慮した男女別の 8 室。
参加児童	中央区在住・在籍の児童 3～6 年生 計 103 名
ボランティア人員	大学生・大学院生 36 名（文教・帝京・千葉明德短期大学・成城など） リーダーOB 2 名 中学生 2 名 地域の方 12 名（宇佐美・湯河原地域） NPO・協力団体 12 名 宇佐美学園職員 約 20 名
問い合わせ先	特定非営利活動法人 フレンドシップキャンプ MAIL : kids2014@tokyochuo.net TEL : 03-6226-6611
写真&報告書 DL	URL : http://www.npo-fc.or.jp (9 月中旬ごろまでにアップ致します) トップページ ⇒ what's new! ⇒ わんぱく KIDS 写真

組織・役割



プログラムのポイント

■わんぱく KIDS の約束

- 1、自分でできることは自分でしよう！
- 2、ひとりでできないことは助け合おう！
- 3、あいさつをしよう！
- 4、身の回りはきれいにしておこう！
- 5、生き物はたいせつにしよう！
- 6、リーダーになんでも相談しよう！

■方針

生活重視（あいさつ・清掃・整理整頓・履物をそろえる・身体をよく拭いてから浴室を出るなど）

■食事

手をつける前に自分の食事量を考慮し、同じテーブルのお友達とシェアをし、残さないようにする。嫌いなものは目標量を決めて食べる努力をする。

■班旗づくり

自分の目標と班の目標を旗に描き発表、期間中の班旗とし、班の仲間としての意識を高める

■山・川・海での自然体験

都会で出来ない体験により自然への理解を深める

自然での遊びを通じて常にチャレンジをし、成功・失敗体験をする

■工作(木育・木材に触れる、創る、知ることによる環境教育)

木や竹を材料とした工作により、創意工夫し物を作る楽しさの気づき

■江戸城石丁場遺跡散策

身近な地域からの歴史理解(中央区と宇佐美のつながりなど)

■ひものづくり・食育ガイダンス

他の生き物の命をもらって生きていることということへの気づき

家族をはじめ多くの人たちの労力があって食べ物があることの意識付け

自己・他者を大切にすることの重要性の認識

■カレーづくり

役割を分担し、目標に向かって全員で活動することの楽しさと重要性の認識

■思い出発表会・キャンドルファイヤー

最後の夜にこれまでの思い出を発表し、全体の一体感と達成感を高め、キャンプの収束とする

5 日間の様子

	1日目 (8月5日)
朝	T-CAT 集合 (7:30) トイレ休憩 (海老名 S.A) 湯河原町町民体育館着 オリエンテーション レクリエーション
昼	幕山公園着 昼食 (弁当) 川遊び 宇佐美学園着 入所式 入浴 夕食
夜	旗づくり 消灯 (21:00) リーダーミーティング



①



②



③



④



⑤



⑥

- ① バス車内 少し緊張している子も見受けられました
- ② 体育館でのレクリエーション
- ③ 湯河原での川遊び体験
- ④ 自分の荷物をもって宇佐美学園へ
- ⑤ お出迎え頂いた 宇佐美学園の目黒副園長先生
- ⑥ 班ごとでの旗づくり

	2日目 (8月6日)
朝	起床 朝のつどい (7:00) 朝食 清掃 宇佐美海岸着 磯浜あそび
昼	昼食 (弁当) 磯浜遊び 宇佐美学園着 入浴 夕食
夜	宇佐美の歴史・石丁場講演 消灯 リーダーミーティング



①



②



③



④



⑥



⑤



⑦

- ① 毎朝班ごとに今日の予定を確認します
- ② 台風にあたることなくいい天気でした!
- ③ 砂浜であそぶ子どもたち
- ④ 磯での生態観察
- ⑤ 自分たちで水着を洗っています
- ⑥ リーダーに肩車をしてもらっています
- ⑦ 講演中にデモンストレーションを手伝っています

	3日目 (8月7日)
朝	起床 朝のつどい 朝食 清掃 判別行動 (ローテーション) ・裏山遺跡散策 ・工作 ・プール
昼	昼食 判別行動 (ローテーション) 入浴 夕食
夜	レクリエーション大会 消灯 リーダーミーティング



①



②



③



④



⑤

- ① 竹工作で箸を作っています
- ② 裏山の遺跡で記念撮影☆
- ③ カブラという積木を組み上げました
- ④ 子どもたちに人気のプールでのアクティビティ
- ⑤ 夜のレクリエーションの一コマ

	4日目 (8月8日)
朝	起床 朝のつどい 朝食 清掃 食育講演 (生田與克/ビル・コート) ひものづくり
昼	昼食 カレーづくり 入浴 夕食 (カレー) 入浴
夜	発表会 キャンドルファイヤー 消灯 リーダーミーティング



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦

- ① スペシャルゲストのビル・コート氏による食育講演
- ② アジのさばきに挑戦!
- ③ ひものは天日干しにします
- ④ カレーづくり 煮込み中
- ⑤ 各班おいしいカレーができました!
- ⑥ 発表会で組体操を披露しています
- ⑦ 恒例となった厳かな雰囲気でのキャンドルファイヤー

	5日目 (8月9日)
朝	起床 朝のつどい 朝食 大掃除 退所式 出発 トイレ休憩 (新島ドライブイン) 神奈川県立生命の星・地球博物館着 自由行動



昼	昼食 (弁当) トイレ休憩 (海老名 S.A) T-CAT 解散 (16:30)
---	--

<ディレクター報告 (NPO・FC 井出 新之介) >

※御礼や団体の理念等の説明につきましては冒頭の「理事長挨拶」をもって代えさせていただきます。

当わんぱく KIDS の事業目的は「青少年の健全育成」「ボランティアリーダーの育成」の2つです。

「青少年の育成」とは端的に、子どもたちに普段なかなかふれあう機会の少ない「自然」や様々な「人」とふれあう環境をつくり、成長を促していくことです。いわば、非日常の体験の中から、日常でも使えるエッセンスを持って帰って頂くことともいえます。

「ボランティアの育成」とは、同様の環境のなか、お手本として子どもたちを、指導・支援・管理等していくことで、成長を促し、よりよい人材を社会に輩出しようとするものです。

本年はボランティア人材が充実してきたことから、私たちがいままで担ってきた役割をボランティアたちへ委任・委嘱する部分を拡げました。部分的にはありますが、彼らがその期待に応えてくれたことは、大きな収穫のひとつです。

保護者説明会でもお願いしましたが、次世代の社会を担う人材を育成するには、様々な方のお力添えが必須です。

まだ若い彼らにとっては楽しいことが転がっているであろうこの夏の5日間に、彼らが子どもたち、そして自分たちの成長のためにボランティア活動をしたという事実をご推察頂き、ぜひ、彼らのよかったところは褒め、至らなかったところは温かい心で激励してください。今後とも引き続き、宜しくお願い申し上げます。

<プログラムチーフ報告 (キャンプボランティア 沼尾 庸平) >

今年は台風の影響が心配されましたが、5日間盛り沢山の活動を大きな事故もなく行うことができました。

本年は新しい試みとして宇佐美海岸での磯浜遊びの後にごみ拾いを行いました。少ない時間で集まったたくさんのごみを目の当たりにし、自然を守るということがどういうことかを実感できたのではないかと思います。

昨年朝の掃除の時間を設定して自分の身の回りを自分で綺麗にすることに重点を置いて生活しています。また、食事の配膳や着替えの準備など生活にかかわるほとんどを子どもたち自身にやらしてもらいました。戸惑いながらも、次第に生活の流れをつかみリーダーの声掛けがなくても自ら行動する様子が見られ、規則正しい生活ができていました。

5日間、子どもたちはそれぞれ協力して生活し、活動に取り組んでいました。キャンプ参加者が全員一丸となって「自分のことは自分です、できないことは助け合う」というわんぱく KIDS の目標に向かい、成長しているようでした。

ボランティアとしてわんぱく KIDS に参加すると子どもたちとの密接なかかわりのなかで子どもたちの変化や成長を実感することができます。これは教師を目指す私にとって大きな学びであり、やりがいです。

また都度、リーダーとしての自分を振り返ることができます。子どもたちとのかかわりで成功したことや失敗したこと、活動の全てが自分の糧になり、子どもたちだけでなく自分の成長の場にもなっています。

このように子どもとともに成長する機会を与えて下さった皆様に深く感謝いたします。

協賛・寄付

(株)隅田屋商店	小坂こども元気クリニック
伊豆山漁業(株)	東京空港交通(株)
(公社) 東京青年会議所 中央区委員会	タチバナエステート(株)
(株)ネオ・コミュニケーションズ	(株)ロイヤルパークホテル
古屋法律事務所	永塚パートナーズ法律事務所
(株)サヨカ	村瀬義則
(株)シゲマツ	朋和商事(株)
JP ホーム (株)	昭和工機(株)
佐川知博	(株)中央コミュニティー
平和農産工業(株)	(株)サプル
協立工業(株)	松井隆弘
下目黒歯科内科	魚河岸野郎(株)
(株)セントラルエステート	(株)マウンテン・ワン

(※順不同 敬称略)

＜当報告書に関するお問い合わせ先＞
特定非営利活動法人フレンドシップキャンプ
Tel: 03-6226-6611
Mail: fc@central-e.co.jp